

自分事と捉える道徳教育の工夫

マキノ中学校区道徳教育研究より

滋賀県 高島市立マキノ中学校

海津大崎



サニービーチ



メタセコイヤ並木



マキノ高原



マキノ中学校区

マキノ東こども園

マキノ東小学校

マキノ南小学校

マキノ西こども園

マキノ西小学校

マキノ中学校



子どもの様子

○素直で真面目
○協力的

△コミュニケーション力
△自ら考え、判断し、
行動する力



具 体 的 な め ざ す 子 ど も 像

自ら考え、判断し、行動する子

自分の思いを伝えられる子

ねばり強く最後までやりぬく子

自分や友達を大切にする子

共 有 化

園・小1
小2部会

小3小4
部会

小5小6
中1部会

中2中3
部会

園 ・ 小 ・ 中 推 進 委 員 会

マ キ ノ 中 学 校 区 校 長 会

道徳教育の充実

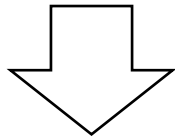
令和3年度 研究主題

新しい自分に出会う「特別の教科 道徳」の在り方

～個の考えを豊かにひき出す発問、個の考えを深める対話の在り方を探る～

「考え、議論する道徳」への授業改善

→自己の生き方、人間としての生き方について考え深める学習



- ・自分の思いを伝える力
- ・物事を多面的に見る力
- ・他を理解し尊重する力



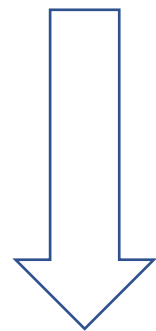
令和3年度 研究の内容

「新しい自分に出会う」

自分を客観視し、
学びを深める

対話

授業改善3つのポイント



自ら考え、思いを述べたくなる発問

ねらいに迫る発問組立て

思いの共有と考えの進化を促す手立て

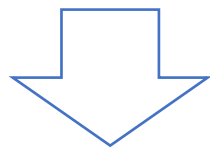


1年次の成果と課題

○ 生き方を考える大切な学習である

○ 思いを話したり聞いたりする

△ 自分との関わりに中で考えを深める



考えを深める工夫と手立て

道徳的心情を育てることを基に、自分との関わり

道徳科の授業との関連付け

令和4年度 研究主題

新しい自分に出会う「特別の教科 道徳」の在り方Ⅱ

～より豊かな道徳的心情を育てる授業の創造と、
道徳的実践力の向上を目指した教育活動の展開～

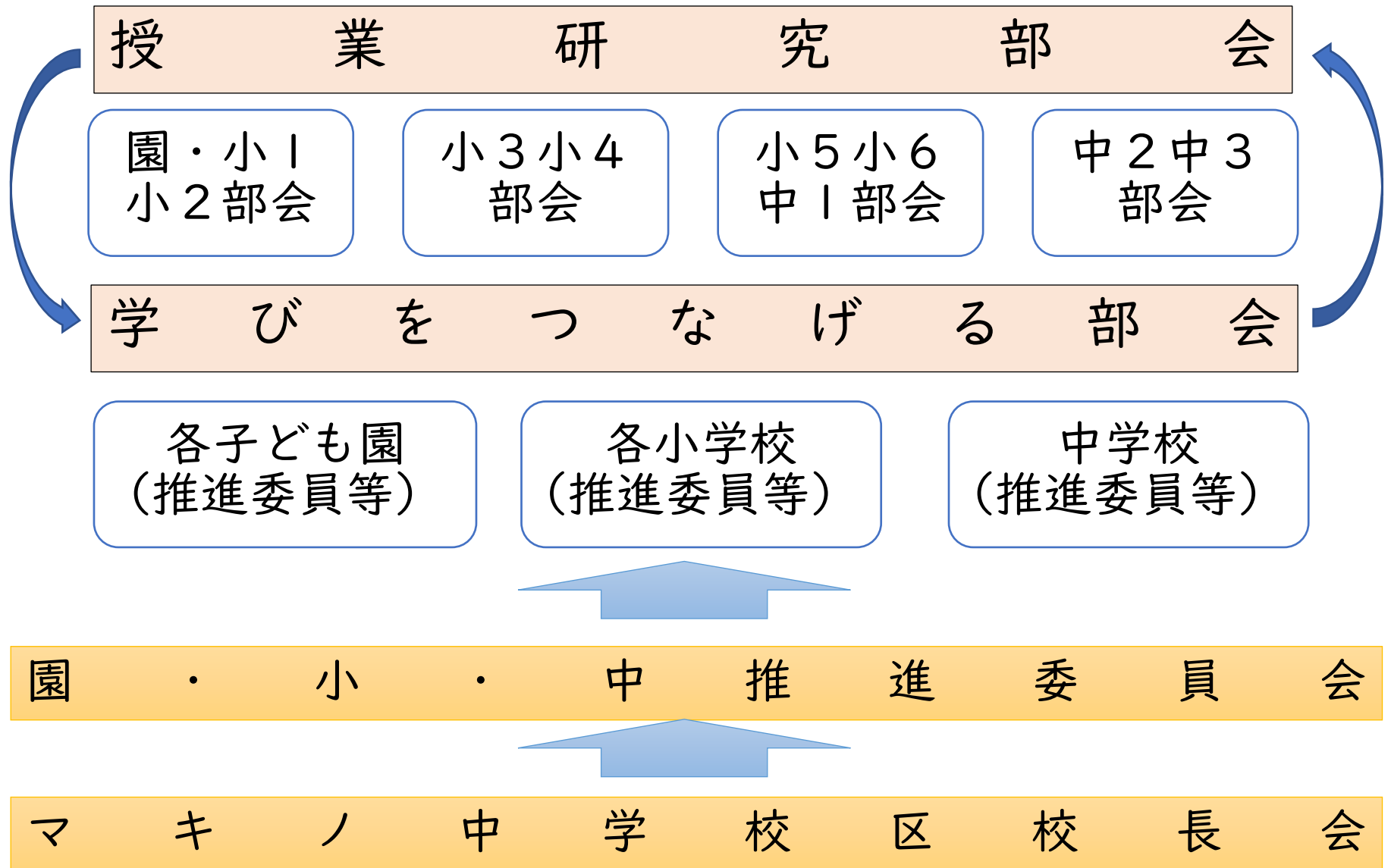
研究内容の重点



自分事として捉える道徳科の授業の展開

道徳科と教育活動との関連付け

研究体制



研究推進にあたって

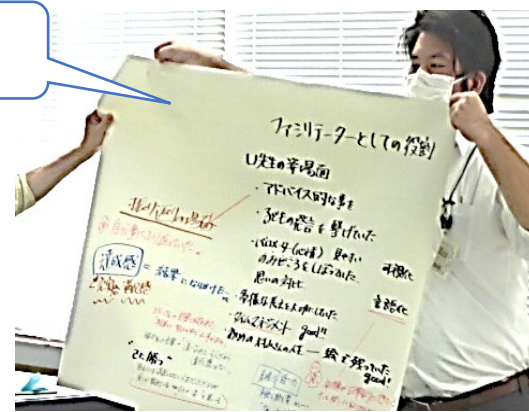
学習指導要領解説の熟読

指導案検討会：部会員の方も参加→指導力向上へ

ファシリテーターとしての役目とは、

小学校：リレー道徳

→ 1教材を他校でも実施する



中学校：ローテーション授業

→ 1教材で他学年でも実施する
学級担任以外の授業

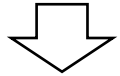


外部講師の招聘と指導助言

道徳の内容項目を自分事と捉えるために

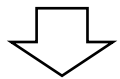
必要な情報を取り出す

読み解く力を育む
プロセス



指導者：ファシリテーター

子どもと子どもが思いをやり取りする



考えたことをまとめる



実生活と関連付けた問題提起

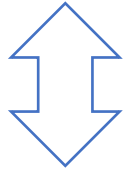
考えたことをやり取りして振り返る

自分事と捉える道徳教育

自分事と捉える授業 展開とその手立て

大切にしたこと

学 び の 姿 の イ メ ー ジ



指導と評価の一体化

学習のねらいと道徳性の諸様相の明確化
(道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲と態度)

教材の登場人物と自分との重なりや比較する場面の設定

理由や根拠を明確にしたり具体的に説明したりする促し

他の人の考えに触れ、自分の考えを広げ深める場面の設定

これまで、これからの自分の生き方に触れる工夫

ねらいの設定

道徳科の内容項目を基に、ねらいとする道徳的価値や道徳性の様相を端的に示す

例

教材

健二の葛藤や決断を共感的に理解することを
通して、自律的な行動と責任の大切さについて
考え、道徳的判断力を育てる。

内容項目

道徳性を構成する諸様相
(道徳的判断力、道徳的心情、道徳的实践意欲、道徳的態度)

導入の工夫

「考えたい」「話したい」「聞きたい」

ねらいと自分との関わり

事前アンケートの活用

- ・登場人物と重ね「できていること」「できていないこと」
- ・教材文の内容と似ている体験や聞いたこと等

例 小4：個性の伸長 「あなたの長所や短所を教えてください」
中2：希望と勇気、克己と強い意志
「目標に向かう中、あきらめたことはありますか」

読んで「印象に残ったこと」「疑問に思ったこと」等



主体的な思考を促し自分事と捉える授業へ

タブレット端末での情報共有

展開の工夫

本音を引き出し、自分事へと迫る

ファシリテーターとして役目

授業の流れ

・教材を通して考える→教材から離れて考える

考えの形成から広がりや深まり

・自分の考えをもつ→他者の考えを知る→再度考える

発問の工夫

・子どもと子どもの発言をつなげる



子どもの自律的な思考に寄り添う

展開の工夫：発問について

発問類型

共感的な発問：「～はどんな気持ちだろう」

分析的な発問：「～はなぜだろう」

投影的な発問：「～ならどうするか」

批判的な発問：「～についてどう考えるか」

展開の工夫：発問について

考えを尊重する

共感する：「なるほど〜。」

確認する：「つまり〜ことですね。」

掘り下げる：「もう少し詳しく教えてください。」

考えを深めつなげる

「このようなことも考えられますが〜どうですか。」

「〇〇さんと同じ考えの人、違う考えの人は、どこが同じですか。どこが違いますか。具体的に教えてください。」

「〇〇さんの意見について、みなさんはどう考えますか。」

展開の工夫：中心発問について

授業研究部会

よりよく生きるうえで大切なことを考える

ねらいと照応していること

考えたくなる問い、正解なき問い、葛藤する問い

自分事と捉えるために

教材の内容と似ている、あるいは異なる

日常生活の事象を考慮しておくこと→自我関与する

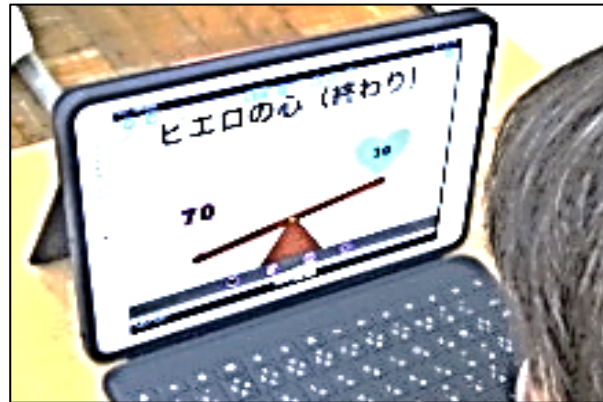
留意すること

- ・学活にならないこと
- ・子どもが指導者の解に合わせないようにすること
- ・多角的で多面的な発問になるようにすること

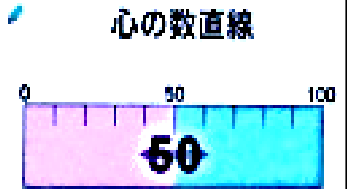
展開の工夫：対話について

タブレット端末の活用

- ・ 考えや立場を明確する
- ・ 他者の考えに触れ、考えを広げ深める



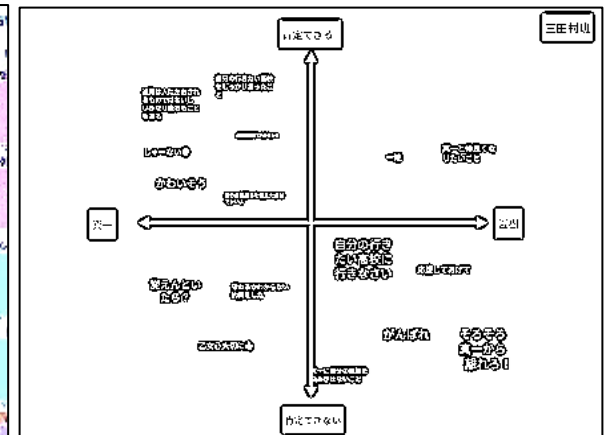
村山さんは自分自身、将棋指しとしての達成度はどれくらいと
思っていたか。



心の見える化

できる できない

できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない
できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない
できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない
できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない
できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない
できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない
できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない
できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない
できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない
できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない	できる	できない



立場の明確化

多様な考えについての情報共有

展開の工夫：対話について

対話を促す学習形態や役割演技



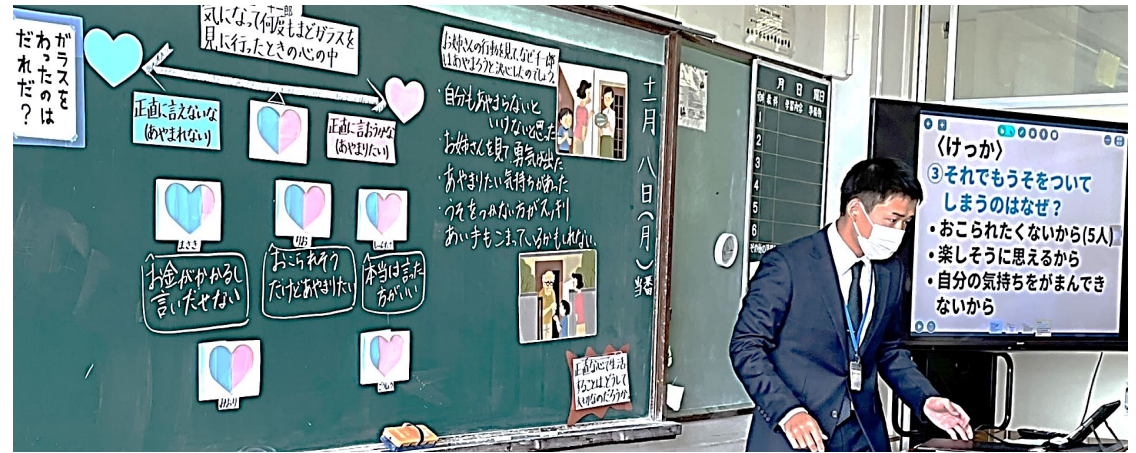
ペア学習からグループ学習へ



コの字型学習や、登場人物と自分を重ねる役割演技

展開の工夫：板書について

思考の流れがわかる構造的な板書



思考の流れが止まらないように



終末の工夫：振り返りについて

自己を見つめる

振り返りの視点

め あ て に つ い て

登場人物と自分を重ねたり比較したりしたことについて

これまでの自分の生き方について

これからの自分の生き方について

自分の考えの変化について

友達の意見について

終末の工夫：振り返りについて

振り返りの視点の活用

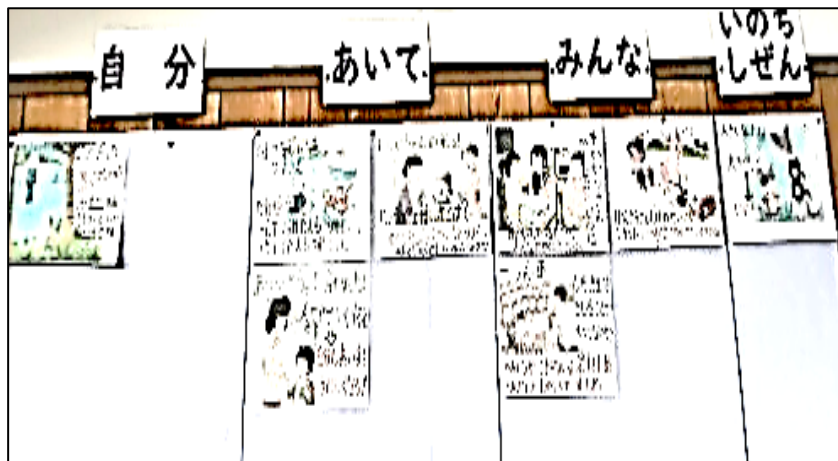
自分の夢や憧れは人に影響を与えてくれると
分かりました。僕自身また「努力したい」ということが
あまりないので、これほどの経験や人生を通して
見つけていきたいです。ビビッときたものを逃すのは
良くないと思うので、それを感じたら続けて
いきたいです。

これまでの自分とこれからの自分

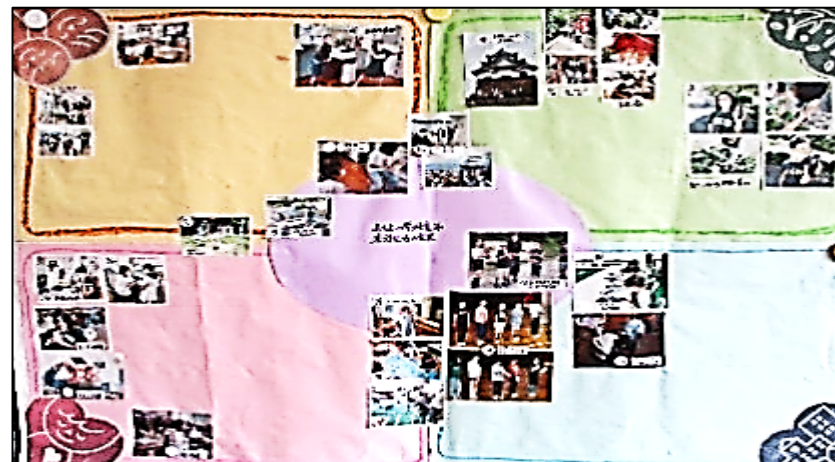
道徳科と他の教育活動 との関連について

掲示物の工夫

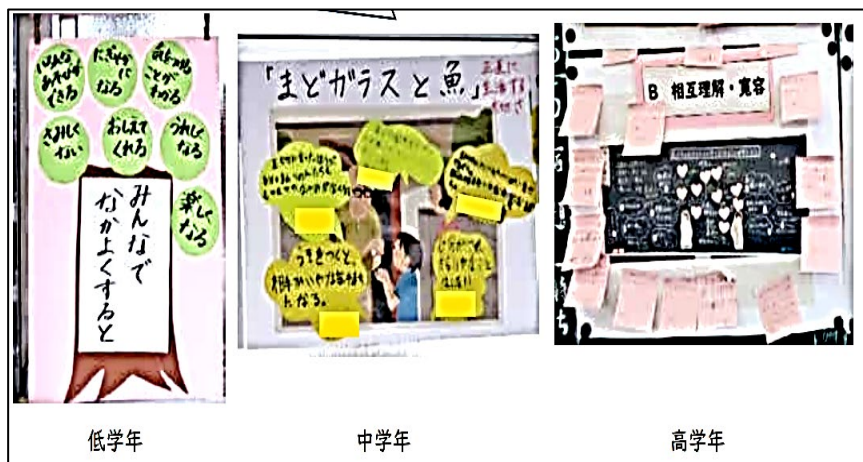
学びをつなげる部会



4つの視点に分けた掲示物



内容項目ごとの色分けした掲示物

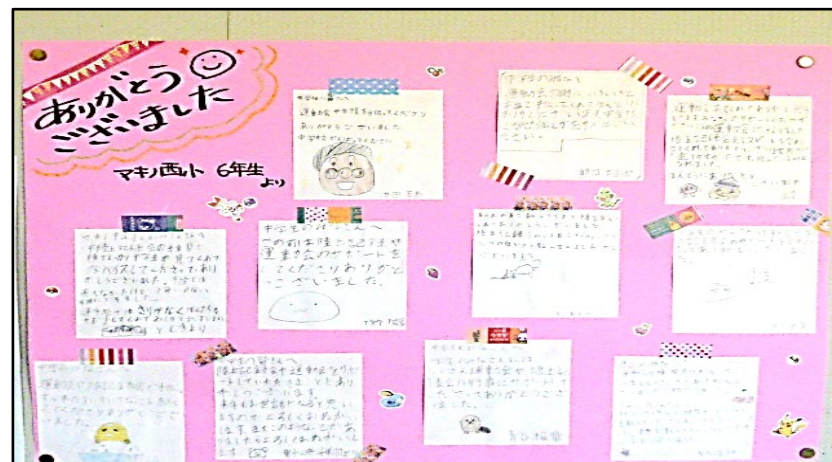


低学年

中学年

高学年

各学年の道徳掲示



小学生からのありがとうの手紙

みんなに知っておいてほしい言葉

ぼうげんしちようし 貌言視聴思

貌（ぼう）＝心をこめてやさしく和やかな顔つきで人と接しましょう。

言（げん）＝温かく思いやりのあることばで相手に話かけましょう。

視（し）＝心をこめて温かいまなざしで人や物を見るようにしましょう。

聴（ちよう）＝相手の話に心をかたむけよく聞くようにしましょう。

思（し）＝まごころをこめて相手のことを思いましょう。

安曇川町で生まれた藤樹（とうじゅ）先生の言葉です。毎日大切にしたいですね。

藤樹先生が小さいころは、「よえもん」とよばれていました。聞いたことあるかな？

幼児の道徳性の芽生え

『道徳性』・『規範意識』の芽生えを培う

● 基本的な生活習慣の確立

「おはよちゃんがやってきたよ！！」
【睡眠・朝ごはんについて】

早起きを心掛け、朝日を浴びて体内時計をスイッチオンさせることによって、朝ごはんを食べる準備ができます。家庭に睡眠リズムを見直してもらうよう、園だよりを通して啓発したり、子ども達には、「おはよちゃん」と早く起きる約束をしました。



「喉のバイ菌をやっつけるぞ!!」
【健康なこころと体を育てる】

外から戻った時や、ご飯やおやつを食べる前には手洗いや、うがいします。生活に見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すことができるようになります。



● きまりを守る態度

「大きい組さんと手をつないでお散歩、楽しいな！」
【散歩を安全に楽しむために】

散歩に出かけ、実際に街や道路を歩く中で様々な交通ルールを学びます。



「転がしドッチボール
線からはみ出しちゃった!!」
【ゲームを楽しむために
必要なルールは?】

転がしドッチボールや鬼ごっこ、机上でのカードゲームなど、それぞれの遊びにおける決まり事をしっかりみんなで守ることが、面白さにつながっていることに気付いていきます。子ども達自身で独自のルールを決めていくこともあります。



● 生命尊重の心情

「私が捕まえたアカハラ！」
【命の存在を感じ、
生き物を大切に】

生き物と関わるからこそ生まれる学びや育ち。園では、飼育活動を通して、「命の大切さ」や「やさしさ」を培ってほしいと願っています。



「どんな野菜ができるかな？」
【自然に触れて感動する体験】

夏野菜の苗を手で触れてみたり、においを嗅いでみたりしました。「あれ?あのお野菜のにおいがするよ!!」好奇心をもって毎日水やりをしながら、野菜の実りに期待する姿があります。植物に愛情を注ぎ、接する中で、生命の不思議さに気付き大切にする気持ちが育ちます。



道徳教育を柱とした横断的なカリキュラム 【高島市立マキノ西小学校】
3,4年生

	4月	5月	6月	7月	8月	9月				
教科	<p>3年 (国語) 「じこしょうかいゲームをしよう」 ・正直、誠実 (道徳) 「おじいちゃんとの楽しみ」 ・親切、思いやり</p>	<p>(社会) 「学校のまわり・市の様子」 ・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 (道徳) 「心をすずめて」 ・相互理解、寛容</p>	<p>(体育) 「ソフトバレーボール」 ・友情、信頼 ・規則の尊重</p>  <p>(道徳) 「あこがれの人」 ・善悪の判断、自律、自由と責任</p>	<p>(国語) 「クラスの生き物ブックをつくらう」 ・自然愛護 ・生命の尊さ (道徳) 「同じ小学校でも」 ・国際理解、国際親善</p>	<p>(国語) 「店て働く人」 ・礼儀 ・感謝 ・勤労・公共の精神 (道徳) 「お母さんのふふふ」 ・個性の伸長</p>	<p>4年 (国語) 「花を見つける手がかり」 ・自然愛護 (道徳) 「あなたの時間に命をふきこめば」 ・生命の尊さ</p>	<p>(社会) 「水はどこから」 ・節度、節制</p>  <p>(道徳) 「さち子の笑顔」 ・善悪の判断、自律、自由と責任</p>	<p>(体育) 「ソフトバレーボール」 ・友情、信頼 ・規則の尊重 (道徳) 「ええことするのは、ええもんや」 ・親切、思いやり</p>	<p>(国語) 「コロコロガーレ」 ・個性の伸長 ・友情、信頼 (国語) 「ぞろぞろ(落語)」 ・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する心 (道徳) 「ちこく」 ・相互理解、寛容</p> 	<p>(国語) 「一つの花」 ・家族愛、家庭生活の充実 ・生命の尊さ (道徳) 「家族の一員として」 ・家族愛、家庭生活の充実</p>
★特別活動	<p>3年 ★入学式 ・よりよい学校生活、集団生活の充実</p> 	<p>★「全校田植え」 ・感謝 ・自然愛護 ●「知内川探検」 ・自然愛護</p>	<p>★「いじめストップ集会」 ・善悪の判断、自律、自由と責任 ・相互理解、寛容</p>	<p>★「びわ湖の日、グリーン作戦」 ・勤労、公共の精神 ・自然愛護</p> 	<p>★「全校稲刈り」 ・感謝 ・自然愛護 ●「福祉学習」 ・親切・思いやり</p>					
●総合的な学習の時間	<p>4年 ★入学式 ・よりよい学校生活、集団生活の充実 ●「里山学習、カタクリの観察」 ・自然愛護 ・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する心</p>	<p>★「全校田植え」 ・感謝 ・自然愛護</p>	<p>★「いじめストップ集会」 ・善悪の判断、自律、自由と責任 ・相互理解、寛容</p> <p>●「里山学習、あそび場作り」 ・友情、信頼 ・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する心</p> 	<p>★「びわ湖の日、グリーン作戦」 ・勤労、公共の精神 ・自然愛護</p>	<p>★「全校稲刈り」 ・感謝 ・自然愛護 ●「福祉学習」 ・親切、思いやり ・公正、公平</p>					
地域との連携	<p>④「里山学習」 ・自然愛護 ・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する心</p> 	<p>①～⑥「お話し会」 ・感謝 ①～⑥「全校田植え」 ・感謝 ・自然愛護 ③「知内川探検」 ・自然愛護</p>	<p>④「里山学習、あそび場作り」 ・友情、信頼 ・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する心</p> 	<p>①～⑥「全校稲刈り」 ・感謝 ・自然愛護</p> 						
①～③ 「放課後子ども教室」										

道徳教育を柱とした横断的なカリキュラム【高島市立マキノ中学校校】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
学校行事 生徒会活動 学級活動 総合的な学習の時間 等	始業式、入学式 校訓「品位、気魄、和合」の紹介 生徒会オリエンテーション	生徒総会 班長会、学級会 テスト前教え合い学習 友情、信頼	体育祭 テスト前教え合い学習 友情、信頼	生徒集会 ・生徒会主催 ・生徒会主催 ・人権学習会 ・壮行会 3年進路学習会 公正、公平、社会正義	文化祭 小6陸上練習支援 真理の探究創造 友情、信頼	修学旅行 小6陸上練習支援 真理の探究創造 友情、信頼	
	よりよい学校生活、集団生活の充実 相互理解、寛容、思いやり	よりよい学校生活、集団生活の充実 相互理解、寛容、思いやり	よりよい学校生活、集団生活の充実 相互理解、寛容、思いやり	自主、自律、自由と責任 遵法精神、公德心	自主、自律、自由と責任 遵法精神、公德心	真理の探究創造 友情、信頼	真理の探究創造 友情、信頼
		 生徒総会オンライン					
							
	ふるさとマキノ探究学習	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度					
	地域貢献活動	自然愛護、勤労、礼儀、社会参画、公共の精神、郷土を愛する態度					
	農作業体験学習	小6、中1子ども民生委員活動	商い体験学習(2年)				
	生徒会主催 あいさつ運動	礼儀、よりよい学校生活、集団生活の充実					
	縦割り清掃活動	自主、自律、自由と責任、よりよい学校生活、集団生活の充実					
	地域との連携	 地域の方による農作業体験学習支援	 ふるさとマキノ探究学習への支援	 地域の方とともに活動する湖岸清掃	 拡大学院運営協議会		

縦のつながりと道徳教育

学びをつなげる部会



親切

園児と小学生の交流



思いやり

園児と中学生の交流



公共の精神

小6・中1子ども民生委員会議



思いやり・感謝

小学校陸上練習への中学生の支援

横のつながりと道徳教育

学びをつなげる部会



勤労

田植への支援



家族愛

裁縫についての支援



社会参画

学校運営協議会への参加

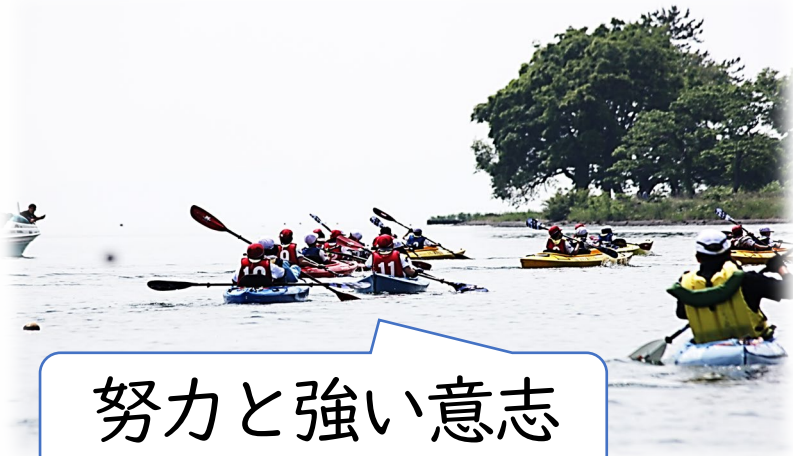


思いやり・感謝

小6・中1子ども民生委員活動

未来へのつながりと道徳教育

学びをつなげる部会



努力と強い意志

カヤック体験学習



伝統と文化の尊重

里山・わら細工体験学習



希望と勇気

中江藤樹先生から学ぶ「立志祭」



郷土を愛する態度

びわ湖高島栗マラソン給水支援

研究の成果と課題

マキノ中学校区における自分事と捉える道徳教育の実践

内面的自覚を図るため

道徳の内容項目と、教材と実生活を関連付け

対話を深めるため

子どもの意見を引き出しつなぐ→ファシリテーター

自分の考えを広げ深めるため

役割演技 タブレット端末の活用 学習形態の工夫

考えを再構築し、つなげるため

構造的な板書、振り返りの視点、掲示物の工夫
他の教育活動との関連付け

児童生徒のアンケート結果【成果】

「道徳の勉強は、ためになる。」

→ 平均 95.9%

「道徳では、他の人の意見を聞きながら、自分のことについてよく考えている。」

→ 平均 95.9%

「学級活動では、自分と違う意見を大切にしている。」

→ 平均 87.1%

今後に向けて【課題】

道徳授業の指導力向上を図ること

主体的で対話的な深い学びのある
授業を展開すること

生徒指導や教育相談に生かすこと